

## 2017年度 ドコモ市民活動団体助成事業 中間報告書

記入日:

2018年3月30日

活動名	闘病中の子どもに対して笑いを伝え、 心豊かな生活を取り戻す	団体名称	NPO法人日本ホスピタル・クラウン協会
		活動テーマ	子どもの健全な育成を支援する活動
		活動の目的	⑧その他
■申請書の活動概要<150~200字>		■申請書のスケジュール	■各スケジュールごとの活動内容
<p>欧米諸国などクラウン(道化師)先進国において、クラウン(道化師)はサーカスや遊園地でショーを見せるだけでなく様々な場所で活躍しています。その活動のひとつに「ケアリングクラウン」という文化があります。それは障がい者施設・老人ホーム・ホスピス・病院・被災地・戦地などでの活動です。</p> <p>私達は平日病院を訪問しています。エントランスやプレールームでショーをするだけでなく、毎週または隔週、病室内に入ってクラウンの笑いや楽しさで子どもを中心とした長期療養の患者の創造性を膨らまし、能動性を引き出し社会性を取り戻すお手伝いをします。</p>		<p>病院へのクラウンの訪問活動。</p> <p>○場所:全国の病院 新規活動クラウン育成 各地で賛助会員イベントを開催し新規活動クラウンを募る。</p> <p>○全国各地13カ所の予定 新規活動クラウン育成 クラウン養成講座を行い新規活動クラウンの育成を行う。</p> <p>○場所:名古屋 年間4回実施 (1月、4月、7月、12月予定)</p>	<p>病院へのクラウンの訪問活動:月に2回、月に1回と日本全国の訪問病院を定期的に訪問しています。2018年3月現在87の病院へ訪問することができています。</p> <p>新規活動クラウン育成:各地で開催している賛助会員イベントにて新規の活動者を探してその後養成、教育を行っています。2018年3月までに18名の新規活動者を増やすことができました。</p>
■活動目標	病院へクラウンが訪れ、笑いや楽しさで子どもを中心とした長期療養の患者の創造性を膨らまし、能動性を引き出し社会性を取り戻すお手伝いをします。		
■長期成果	クラウンが定期訪問することで子ども達や病院関係者との信頼関係を構築して子どもたちが忘れてしまっている笑顔を取り戻すことのお手伝いをさせていただきます。 病院全体を笑顔あふれる場所へと変化させることにより、子ども達の入院生活が辛い思い出から少しでも楽しかった、良かった出来事へと変わってくれることを願います。		
■活動風景			
			
子ども達のところへ風船を持っていきます。		活動の心得を学んでいます。(養成講座の風景)	
			
		イベントでの理事長の活動報告	
■上期の成果と下半期に向けた改善点		■実施体制	
<p>&lt;上期の成果&gt;</p> <p>この活動をより多くの方に知っていただき、訪問病院の増加、活動者の増員に取り組んできました。その中で多くの支援者を増やすことができ、少しずつですが訪問病院も増えています。そして活動者が2018年3月で18名増員することができました。</p> <p>&lt;下半期に向けた改善点&gt;</p> <p>しかし、まだまだ活動者が少ないことが課題になっています。このため、下半期にはより多くの方にイベントにご参加いただきこの活動を知っていただくと共に活動者へなってもらえるようにイベントへの参加者の増員を行っていきます。</p>		<p>各種イベントの開催前に情報発信を行います。また、その地域にある訪問病院や地元の活動者を活用し情報発信を行います。また、新聞・テレビなどのメディアへの露出が多くなるとイベントへの参加者が多くなる傾向にあるため、そちらへの取り組みを積極的に行っていきます。</p>	
〒101-0046 (住所)東京都千代田区神田多町2-4-2レジディア神田1102 (団体名)NPO法人日本ホスピタル・クラウン協会 (ホームページ): <a href="http://www.hospital-clown.jp/">http://www.hospital-clown.jp/</a>		助成金額 500,000円	
		助成期間	
		H29.9.1~H30.8.31	

※長期成果とは、活動目標に向かって継続的な事業を進める中で将来得られる活動成果とします。